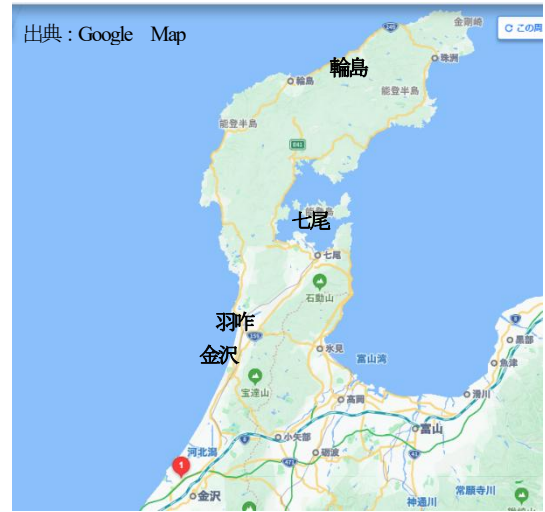


カリタスジャパン 能登地震災害緊急支援募金 ご報告 2024年11月

今年の正月に能登半島で発生した地震は、様々なインフラを壊し、人々の生活を破壊しました。被災された人々は、凍える寒さの中で地域で協力し、またその歩みにカトリック教会や多くの支援団体が歩調を合わせ、復旧、復興へ向けて努力してきました。

9月21日、奥能登を襲った豪雨によって15名の方々が亡くなり、1800棟を超える住宅が被害を受け(11月1日の石川県危機管理監室報告)、また土砂崩れによって様々なインフラが破壊されました。実際に現地を訪れて心が揺さぶられるのは、泥まみれの道路などの悲惨な光景ではなく、「心が折れた」と話される地域の人々の表情です。地震も、大雨も多くのものを破壊しましたが、2度目の災害は特に人々の心を傷つけました。「なぜ!」「1回じゃ駄目なのか!」という叫びが突き刺さります。

カリタスのとサポートセンターは、豪雨災害発生後すぐに、断水した地域に主に生活用水を届ける活動を始めました。緊急でボランティアを募集し、多くの人々が応えてくださいました。ともに、歩み続けることが物と心の復興そのものであると強く感じます。どうかこれからも、祈り、募金、ボランティア活動など様々な形で歩みをともにしてくださいませよう、よろしくお願いいたします。



カリタスジャパン担当司教 成井大介

■ 能登半島地震災害緊急支援募金 (8月~10月)

期間	募金額 (円)	募金件数
8月1日~31日	4,866,337	29
9月1日~30日	2,281,747	82
10月1日~31日	6,578,554	177
計	13,726,638	288

2024年8-10月募金・援助

募金額 13,726,638円 (288件)

援助額 4,421,480円

■ 援助額 (8月~10月)

援助先	活動	援助額 (円)
震災子ども復興支援センター	豪雨による泥や、公費解体に伴う貴重品等運び出し支援 2024年9月21日の石川県奥能登地方を中心とした記録的な豪雨により、特に発災時一時孤立状態となった輪島市町野町中心部には土砂が流れ込み、元日の地震に加え、家屋、および仮設住宅に甚大な被害を及ぼした。この豪雨による死者や行方不明者も出ており、住民は二重の心的苦痛を受けている。多くの車両が水没し不足している中、泥の運び出しに加え、10月から開始された公費解体に伴う貴重品や思い出の品の運び出しの住民ニーズに対し、軽トラとボランティアで対応している。	1,500,000
カトリック名古屋教区	能登半島地震被災地支援活動、新スタッフ配置によるカリタスのとサポートセンターの安定運営 (2024年10月~2025年3月) 専従スタッフとして、サポートセンター、フィールド、ベースにて、以下の活動を行う。 1) サポートセンターにおける業務; 事務業務全般、会計業務、渉外業務、各種会議・視察等の企画運営・報告、支援活動の調整、ボランティア調整、物資支援要請等を行う。 2) ベース運営; 主にカリタス羽咋ベースおよびカリタス七尾ベース、将来的にはカリタス輪島ベースを基点に七尾市、輪島市において、カトリック幼稚園や教会、各市社会福祉協議会災害ボランティアセンター、地域の市民団体や支援団体ネットワークと連携	2,691,480

	し、地域の人々のニーズに応える形で支援活動を行う。ボランティアの受け入れ、活動調整を行う。 3) 物資支援；七尾市または輪島市において必要に応じて物資支援を行う。 4) 復興支援；現在カリタスのとサポートセンターが行っている活動を実施する。また、継続的にニーズ調査を行い、地域や他団体との関係づくりを行う中で、新規活動を開拓していく。	
カトリック名古屋教区 カリタスのとサポート センター	ボランティアベース環境整備 設備・資機材（パソコン、プリンター）	230,000
合計		4,421,480

■ 活動写真 (写真はすべて ©カリタスのとサポートセンター)

水支援



豪雨による仮設配管の破損などで断水が再び続く地域で、運搬が難しい方のお宅に水を運びました。その際に被災者の方のお話を聞く中で、地震の時より今回の豪雨の方が精神的にきついという声もあります。

物資支援



輪島市の重蔵神社じゅうざうでは他団体と協力して、水、食品、生活物資や野菜などの配布を行っています。今回の豪雨で物資支援の需要が増え再び、仕分けボランティアも重要となっています。

ついたちの祈り



毎月1日、発災時刻に合わせて幼稚園の子どもたちと地域の人々と黙とうと祈りをささげています。

農業支援 (稲刈り)



今回の豪雨による土砂災害で、せっかく育てた稲が泥を被ってしまいました。他の団体とも連携しながら稲刈りのお手伝いをしました。

■ 名古屋教区カリタスのとサポートセンター第6回評価会議および第1回運営委員会

カリタスのとサポートセンターの安定的かつ継続的な運営のため、第6回評価会議を行いました。同時に今回から地元主体、地域主体の運営体制に切り替え、新たな体制の下で、第1回運営委員会を行いました。



郵便局の専用払込用紙（送金手数料カリタスジャパン負担）をご希望のかたは、電話(03-5632-4439)あるいはメール (info@caritas.jp) にて事務局までご連絡ください。



引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。